

Next Generation 委員会 事業計画

Next Generation 委員会 委員長 井上 慎太郎

- 1 私たちの住むこの新潟には広大な自然があり、子供たちの触れ合える場がある中、現代
2 の急速なデジタル化の普及に伴い、実体験や学習活動の機会が減少している傾向がありま
3 す。インターネットでの情報が多い現代では運動不足の改善や集中力の向上が欠かせず、
4 自発的に前進し他者と協力して挑戦の心を得て、活気溢れる豊かな未来へつなぐべく、実
5 体験でしか得られない情報や知識、全力でモノごとに取り組む精神を学ぶ必要があります。
- 6 当委員会は、子供たちが新潟県で育ち青年になった時に、地域社会に貢献することで自
7 らの力で課題に気づき、考え、行動する人財となるために、子供たちへ向け教科書には載
8 っていないような新潟県で行っている様々な取り組みを実際に体験する機会を提供し、新
9 潟県の美しさや魅力を次の世代へ伝えていくことの重要性を創出します。まずは、子供た
10 ちが互いに知らなかった情報や知識を共有し潜在的に脳裏に残すために、青年経済人であ
11 る私たちが子供たちと共に地域課題や活性化に取り組み、インターネットだけでは知るこ
12 とのできない体験を提供し広大な自然で駆け抜ける喜びを体感することで、子供たちの豊
13 かな感受性や郷土愛を育みます。そして、思いっきり取り組む精神を育む場を提供するた
14 めに、U-11 少年少女サッカー大会を企画し、子供たちに思いやりや友情、支え合うことの
15 大切さを学び理解する機会をつくります。さらに、闘争心や失敗を恐れずに目標をたて仲
16 間と共に切磋琢磨し、デジタル化になりつつある現代の子供たちの精神や健康、自分自身
17 の成長につなげることで、グッドルーザーの精神である他者を思いやる心を育みます。
- 18 以上の活動を通じて、私たちの運動や取り組みを実体験し、新潟県で見た魅力ある景
19 色を次の世代へと受け伝えていける人財となり、子供たちが自発的な行動で老若男女に対
20 して相互扶助の精神を大切にする誇り高い青年へと導かれ共に夢溢れる未来を創造します。

【事業計画】

1. 他者を思いやる JC カップ U-11 少年少女サッカー大会の企画・実施
2. 青少年育成事業の企画・実施

(意見・対応)

第 2 回 役員予定者会議 2024 年 10 月 8 日 (火)

【事前指摘】

意見 1 : 誤字の修正および統一文言表に沿うよう修正をお願いします。

対応 1 : 修正しました。

意見 2 : 1 パラ目に手法混じりの文章となっているので修正をお願いします。

対応 2 : 1 パラの手法混じりの部分を修正しました。

意見 3 : 2 パラ目の冒頭は、目的を記載した方がよいのでは

対応 3 : 2 パラ目冒頭に目的を記載しました。

意見 4 : 2 パラ目でデジタルツールとあるが、1 パラ目の背景でなぜ必要なのか記載されることが望ましい

対応 4 : 2 パラ目の文言を修正しました。

意見 5 : いじめが年々と深刻化しており」は日本全国各地なのか新潟県内でしょうか？いつ、どこで、誰が、いじめがあるのでしょうか。スポーツよりいじめを解決した方がよいのでは？

対応 5 : 文部科学省が公表しております全国の小・中・高生になります。その中でも新潟県は 4 番目にいじめが多い県になります。いじめを減らすための思いやりや支え合いを学ぶ場と考えています。

https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/life/614817_1765526_misc.pdf

意見 6 : 文字数の確認をお願いします。ローマ字が 1 文字とカウントされている場合があります。

対応 6 : 修正しました。

意見 7 : 私たちが新潟で生きた証。とは誰のどんな証でしょうか。

対応 7 : 青年会議所、新潟ブロック協議会が今まで行ってきた事業や運動が、私たちの生きた証になります。

意見 8 : 大人へと成長し。が子供が 1 年間で大人へ成長に見えるので、ご一考ください。

対応 8 : 修正しました。

意見 9 : 多くの誇れるモノがある中～に対しての子供たちが抱える課題はなんでしょう
か。

対応 9 : 子供たちの抱える問題に関しましては 1 パラにて記載しています。

意見 10 : 運動不足と集中力の低下とありますが、運動不足はイメージできます。集中力の低下はどのような状態でしょうか。

対応 10：集中力とは、1つの事柄に注意を集中して物事に取り組む能力が低下している状態になります。

[令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果：スポーツ庁](#)

意見 11：発的な行動で前へ進む心がうすれつつ～とありますがどのような状態でしょうか。

対応 11：物事を自分から思い立って行動する力が減少している事を表します。

[「自発的に動かない子」？親が知らない子供の本質 親と子で「未来の認識」があまりに違いすぎる | ぐんぐん伸びる子は何が違うのか？ | 東洋経済オンライン](#)

意見 12：新潟県の知るべき景色とはどのようなものでしょうか

対応 12：青年会議所が活動してきた内容を表します。

【当日指摘】

意見 1：ネットワークはインターネットのことではないか

対応 1：インターネットはネットワークの中のものになりますが、インターネットの方が一般的に分かりやすいので変更いたします。

意見 2：思い切り物事なのか思い切りモノゴトなのか、どちらの意味合いでしょうか。

対応 2：モノゴトの方に修正しました。

意見 3：子供たちが自発的な行動で老若男女に対して相互扶助の精神を大切にするとあるが、老若男女分け隔てなくほうがよいのでは？

対応 3：文章の表現を修正しました。

意見 4：挑戦におそれずとあるが、失敗を恐れずの方が良いのではないかと。

対応 4：失敗を恐れずに修正しました。

意見 5：多くの誇れるものがあると委員会で考えているとのことだが、委員会として子供たちにしてもらいたいことは体験なのか発信なのか

対応 5：体験してもらうことです。

意見 6：デジタル化になっている現代の子供たちに違和感がある。

対応 6：文章の表現を修正しました。

意見 7：デジタル化と SNS の表現について意味合いが重複しているのではないかと。

対応 7：授業でアイパッド使用しているのがデジタル化、SNS は、インスタグラムやフェイスブックといったものを指しています。

意見 8：野外にした理由はなんでしょうか。野外だと森や山のイメージで屋外だと公園などのイメージ

対応 8：屋外のイメージです。修正しました。

意見 9：英語の表記が間違っている

対応 9：正しいスペルに修正しました。

意見 10：文章の表現について SNS がすべて悪だと感じてしまうので、LOM でも SNS を使用するかと思う。表現の仕方を一考しても良いのではないかな。

対応 10：表現を見直しました。

第 2 回 理事長専務予定者会議 2024 年 10 月 16 日（水）

【事前指摘】

意見 1：「私たちの運動や取り組みを実体験して見えた新潟県の魅力ある景色を次の世代と受け伝えていける人財となり」の主語は何でしょうか？

対応 1：これから大人になっていく子供たちです。

意見 2：「自発的な行動で前へ進む心が薄れつつあります」の要因として、1 文目に複数の要素を挙げられていますが、最大の要因＝解決すべき問題は何でしょうか？

対応 2：最大の要因は、実体験の機会の減少です。学習活動、運動不足、集中力これらの要素は、実体験にて得られるものだと考えています。インターネットでも学習活動、集中力は得られますが、屋外では、取り返しのつかないけがや事故を起こさないよう、全集中で取り組まなければならない事が多くあるのため、実体験は必要不可欠です。

意見 3：文字数が決まっている中で難しいとは思いますが、「実体験や学習活動が減り、」とありますが、すこし違和感があります。

対応 3：「実体験や学習活動の機会が減少し」に修正しました。

意見 4：子どもたちに対する表現だと、5 行目と 7 行目の「思い切り」は、「思いっきり」のほうが合うのではないかと思います。

対応 4：「思いっきり」に修正しました。

【当日指摘】

意見 1：背景に運動不足、集中力の低下に触れているが、U11 サッカー大会の参加チームは、クラブチームが対象でしょうか

対応 1：クラブチームが対象です。

意見 2：クラブチームが対象となると運動不足とか集中力の低下という背景に違和感があります。背景と手法で矛盾な部分があるのでその部分を一考してください。

対応 2：内容に矛盾がないよう修正いたしました。

意見 3: 1 パラ目の文章がネガティブな内容になっている。子供たちの良いところを見ないのでしょうか。足りないことを補うのではなく、子供たちの良いところを伸ばしてもよいのではないか。

対応 3: 問題に対し、課題かと思いますのでこのまま行かせていただきます。

意見 4: インターネットが普及したことで集中力が持続しない根拠はなんですか。

対応 4: インターネットを使うことで膨大な情報量があるため、また、画面の切り替わりが多いことから集中力の低下が医学的に証明されております。

意見 5: プログラミング等で何時間も集中して作業している子供を見たことがあったので、ネット社会では集中力は欠けてしまうのかなと疑問に思う。

対応 5: インターネットを使うことで膨大な情報量があるため、また、画面の切り替わりが多いことから集中力の低下が医学的に証明されております。

第 3 回 役員予定者会議 2024 年 11 月 5 日 (火)

【事前指摘】

意見 1: 2 パラの内容の前に統一ルールに則って一文の構成をお願いします。

文章は「目的・手法・2025 年に求められる効果」の順番で一文が統一ルールです。

文章が切れずに句点 (。) ではなく読点 (、) で繋がっています。

対応 1: 統一ルールに合わせ変更いたしました。

意見 2: 統一文言を再度確認してください。

1 文の長さは 80 文字以上であること。

前回の意見でネガティブな表現なので再考くださいとあったが、現状のままでいくと記載されていました。ところが、統一文言では

1 文目: 現状把握 (強みや問題提起など) → ネガティブではなく、ポジティブにつながるように書くこと。

となっていますので、ネガティブな表現は避けた方が良さそうです。書き方を直せば内容はそのままでも良いかもしれません。

対応 2: ネガティブな所を変更いたしました。

意見 3: タブ名が Microsoft word になっているので修正してください。

対応 3: 修正しました。

意見 4: 子供たちが実体験を通じて新たなことに触れあい、目を輝かせる姿が目に見え、ワクワクしました。

1 パラ 1 文目の「実体験や学習活動の機会減り」は「機会が減り」かと思いますが、「が」が抜けてしまっているようです。

対応4：修正しました。

【当日指摘】

意見1：自発的に前進とあるが、具体的にどの部分にかかってくるのでしょうか。

対応1：自分から積極的に他者と交流をすることやモノゴトを考えて動ける判断をとれることを意味しています。

意見2：潜在的に脳裏に残すためにとあるが、イメージを教えてください。

対応2：潜在的に脳裏に残すという言葉は、聞きなれない言葉かと思いますが、覚えようと意識しなくても記憶に残っていることを指します。具体的に私たちJCが行う事業ひとつでも子供たちの記憶に残って、将来その子供たちが大人になり、未来の子供たちに学びを伝えてほしいというイメージです。

意見3：私たちが新潟で生きた証とありますが、私たちは誰をさしていますか。

対応3：JCのことです。

意見4：私たち（JC）が新潟で生きた証と背景はどのようにつながりがあるのでしょうか。

対応4：実体験や学習活動の機会が減ってきている、その機会に参加しようとする子供が少なくなっているなかで、私たちJCが青少年育成事業を通じて機会を提供できればと思っています。

意見5：ローマ字の半角のフォントを確認してほしい。

対応5：フォントを修正しました。

意見6：1パラ目に子供たちが触れ合える場があるとありますが、どういった状態でしょうか。

対応6：新潟県には山や海など自然のなかにある天然のアトラクションがあるなか子供たちがそこと触れ合う機会が減少しているという意味です。

意見7：1パラ目の1文目が76文字であり、統一ルールに則っていないので子供たちと触れ合える場を詳しく記載してもよいのでは。

対応7：再考させていただきます。

意見8：2パラ目の冒頭に青少年育成事業を企画・実施とあるが、最初は委員会の1年間の目的を記載してから、つなげてはどうか。

対応8：修正いたしました。

意見9：運動不足の向上について表現に違和感がある。運動能力の向上などで再考していただければと思う。

対応9：修正いたしました。

意見 10：新潟県で見た魅力ある景色を次の世代へと受け伝えていける人財というのは青少年事業で行われるという認識で良いか。

対応 10：その通りです。

第 3 回 理事長専務予定者会議 2024 年 11 月 16 日（土）

【事前指摘】

意見 1：統一文言集で 2 パラ目について下記のように定められています。

「当委員会は〇〇のために、▲▲し、■●にします。」と 1 年間通じて委員会が取り組む内容の記載からスタートする。事業計画の文章は、この形と少し異なるように思いますが、問題はないのでしょうか。

対応 1：統一文言集修正いたしました。

意見 2：「私たちの運動や取り組みを実体験し、新潟県で見た魅力ある景色を次の世代へと受け伝えていける人財となり」の主語や、「共に夢溢れる未来を創造します。」の相手が記載されていないので、読みづらさを感じました。私たちは内部の人間なので頭の中で補完しながら読めますが、外部の方も読まれる文章だと思いますので、外部の方でも読みやすい文章にしていだけたらと思います。

対応 2：主語は子供になります。「共に夢溢れる未来を創造します。」の相手を記載修正いたしました。

意見 3：「子供たちの精神や健康、自分自身の成長につなげる」とありますが、何をつなげるのかお聞かせください。

対応 3：成長や発展になります。

意見 4：「新潟県で育ち青年になった時に、私たち JAYCEE が行ってきた取り組みを知り得る人材となるために」とありますが、それを目的とする理由をお聞かせください。そして、それは 1 段落目のどこかにつながる内容でしょうか。

対応 4：内容を変更いたしましたので再度お願いいたします。

質問 5：自発的に前進し他者と協力して挑戦していく“心を支え”とあります。「心を支える」という言葉を選択した理由や想いがあればお聞かせください。

対応 5：子供たち自身、困難や苦境に直面したとき互いに支えるようになってほしい。このような想いから選定いたしました。

意見 6：「運動不足や集中力の向上が欠かせず」とありますが、このままだと「運動不足が欠かせない」という意味になると思います。おそらく委員長の意図とは異なるかと思うので、修正をご検討ください。

対応 6：「運動不足や集中力の向上が欠かせず」の文言を変更いたしました。

意見 7：より一層とは何に対してより一層なのでしょう。

対応 7：一層の文言を削除いたしました。

質問 8：インターネットでの情報が多いと運動不足(の解消)や集中力の向上が欠かせないと考える理由をお聞かせください。

対応 8：現代の子供たちはスマートフォンやタブレットを学校だけでなく、自宅や出先においても YouTube などを見ていることが増えている為、体を動かす量が減ってます。また、インターネットを使うことで膨大な情報量があるため、また、画面の切り替わりが多いことから集中力の低下が医学的に証明されております。

質問 9：「デジタル化の急速な普及に伴い、実体験や学習活動の機会が減少しています。とありますが、その根拠となる資料はありますか。デジタル化の普及によって、実体験や学習活動に参加するこどもの数が減っている。ならば、イメージできませんが、機会が減っているのでしょうか。

対応 9：文部科学省にて統計がでており、デジタル化の良い面悪い面等の結果もでております。

https://www.mext.go.jp/content/20230619-mxt_chisui02-100003338.pdf

意見 10：自分の子どもたちを見ても、youtube やテレビなどデジタル化の悪い影響を受けていることも多々あるので、ぜひ自然に対することについてもスポーツと共に取り組んでいただければ幸いです。

対応 10：私の想いも自分の子供たちを見ていてのスタートになります、賛同致します、ありがとうございます。

質問 11：「NextGeneration」について、google などで調べると、「Next Generation」のように他の大体の団体名がNext と Generationの間にスペースを入れています。ご確認ください。

対応 11：スペースを入れ対応させていただきました。

【当日指摘】

質問 1：背景の「実体験や学習活動の機会が減少している」は何を持ってお考えかお聞かせください

対応 1：文部科学省の方で統計がでております。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/04121502/055/003.htm

第4回 役員予定者会議 2024年12月4日（水）

【事前指摘】

質問1：タブ名を修正してください。

対応1：修正しました。

【当日指摘】

質問1：なし

対応1：なし

第4回 理事長専務予定者会議 2024年12月14日（土）

【事前指摘】

質問1：なし

対応1：なし

第12回 役員会議 2024年12月12日（木）

【事前指摘】

質問1：なし

対応1：なし

【当日指摘】

質問1：なし

対応1：なし

第12回 会員会議所会議 2024年12月21日（土）

【事前指摘】

質問1：「子供たちへ向け教科書には載っていないような新潟県で行っている様々な取り組みを実際に体験する機会を提供し、新潟県の美しさや魅力を次の世代へ伝えていくことの重要性を創出します。まずは、子供たちが互いに知らなかった情報や知識を共有し潜在的に脳裏に残すために、青年経済人である私たちが子供たちと共に地域課題や活性化に取り組み、インターネットだけでは知ることのできない体験を提供し広大な自然で駆け抜ける喜びを体感することで、子供たちの豊かな感受性や郷土愛を育みます。」

とのこと、当LOM新潟JCも近年、本来青年会議所が得意とする青少年育成事業を復活、再導入しております。大変素晴らしいと存じます。現状の事業の構想や詳細をお聞かせください。

対応 1： 青少年育成事業にて、まだ正確な事業は検討中にはなりますが、子供達が大人になっても印象に残る事業にします。

質問 2： 過去意見対応において触れられているが、子どもたちが互いに知らなかった情報や知識を共有し、「潜在的に脳裏に残すために、」との表現について、あえて顕在的に脳裏に残さない意図があれば説明を求めたい。「無意識に」、「無自覚に」あるいは「暗黙に」といった意味合いだとしても、あえて伏在させる意味があるのか。潜在させることを手法としているような記載だが、何らかの意味があるのか。※無ければ対応は不要です。

対応 2： 「潜在的に脳裏に残す」の想いとなりますが。子供たちが青年になった時、私たち青年経済人が子供たちに向けて行っている事業を脳裏に残す事により、次の世代に受け伝えて行ける人材になっていくと言う想いで使った表現になります。